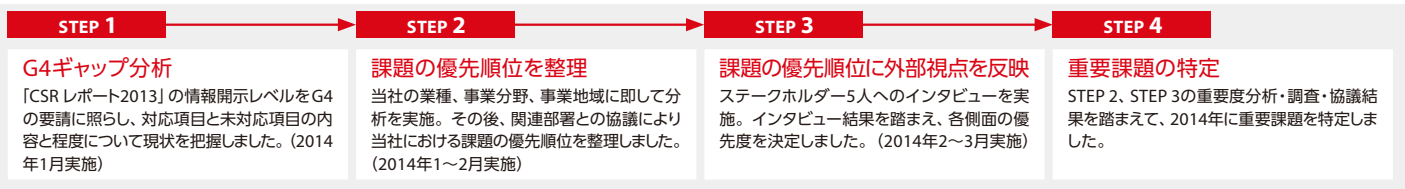


サステナビリティ経営における リスクと機会・マテリアリティ

マテリアリティ(重要課題)
の特定プロセス

重要課題 (マテリアリティ)	認識する課題	中長期的な事業リスクと機会
<p>製品を通して 安心と楽しさを いつまでも届けます</p>  	<ul style="list-style-type: none"> 自動車業界における「CASE※1」「MaaS※2」の浸透 テクノロジーの活用によるイノベーション お客さまのニーズの多様化(コスト、性能、品質、環境・社会貢献) お客さまの安全・安心 <p>※1 CASE: Connected (コネクテッド)、Autonomous (自動運転)、Shared & Services (カーシェアとサービス)、Electric (電動化) の頭文字をとった造語 ※2 MaaS: Mobility as a Serviceの略。さまざまな種類の移動サービスを1つに統合して利用者に提供する新しい概念。</p>	<p>リスク 短・中期 製品の安全性低下による事故・訴訟のリスク、リコール、ブランド価値の棄損</p> <p>中・長期 お客さまのニーズの変化に伴う製品需要の低下</p> <p>中・長期 降雪の減少等による冬用タイヤ需要の低下</p> <p>短・中期 資源価格の高騰</p> <p>機会 中・長期 「CASE」「MaaS」への対応による新たなビジネスチャンス</p> <p>中・長期 お客さまのニーズの変化、規制強化への早期対応</p> <p>中・長期 リユース・リサイクルによる競争力・収益力の向上</p>
<p>地球環境のために 豊かな自然を 次世代へ伝えます</p>     	<ul style="list-style-type: none"> 気候変動問題 カーボンニュートラルの実現 サーキュラーエコノミーの実現 生物多様性保全 自然資源の持続可能な利用・管理 汚染予防と化学物質管理 	<p>リスク 短・中期 環境に関する法規制・訴訟のリスク</p> <p>中・長期 気候変動や大気汚染への影響、エネルギーコストの増加</p> <p>中・長期 廃棄物・排出物による環境影響</p> <p>中・長期 水資源の枯渇・不足</p> <p>機会 短・中期 製造プロセス効率の改善によるエネルギーコスト削減</p> <p>短・中期 リユース・リサイクルによる資源価格変動リスクの低減、運用効率の向上</p> <p>短・中期 環境保全コストの低減</p>
<p>人とのつながり 共に高め合い 笑顔を広げます</p>    	<ul style="list-style-type: none"> 人権の尊重 ダイバーシティ&インクルージョン 働き方改革 人材育成 労働安全衛生 	<p>リスク 短・中期 サプライチェーンにおける人権侵害</p> <p>短・中期 労働災害・自然災害・感染症等による損失と事業影響</p> <p>短・中期 メンタルヘルス不調による休業、満足度低下による生産性の低下</p> <p>機会 中・長期 多様性や生活を重視した働き方改革</p> <p>中・長期 持続的な天然ゴム調達のためのトレーサビリティの確立</p> <p>中・長期 人材育成による能力向上と働きやすい職場づくり</p> <p>中・長期 健康経営による優秀な人材の雇用継続</p>
<p>地域社会と共に 共に生き、ゆるぎない信頼を 築きます</p>     	<ul style="list-style-type: none"> 水や大気汚染、環境破壊等の地域の環境課題 先住民の土地の権利尊重、人権侵害、災害、医療、不正取引や紛争鉱物等の地域の社会課題 地域社会の活性化、経済効果の創出 地域社会とのコミュニケーション 	<p>リスク 短・中期 廃棄物・排出物の環境影響による地域コミュニティの操業反対</p> <p>短・中期 人権侵害等の社会問題の発生による訴訟リスク、レピュテーションリスク</p> <p>機会 中・長期 地域社会の環境・社会課題解決による活性化</p> <p>中・長期 地域社会の雇用創出による経済発展への貢献</p> <p>中・長期 高齢化・過疎化地域やニューノーマルにおけるモビリティ・サービスの変化に合わせた製品・サービスの提供</p>
<p>コーポレートガバナンス グローバル化する社会的課題に 正しく対処するための基盤を 強化します</p>   	<ul style="list-style-type: none"> 適切な組織統治の基盤の維持・強化 持続的な企業価値の向上 取締役会や委員会等の会議体の実効性と多様性 ステークホルダーとの対話と情報開示 	<p>リスク 中・長期 規制や法令の順守、制度変更への対応</p> <p>中・長期 コーポレートガバナンス強化への社会要請</p> <p>中・長期 独占禁止法、贈収賄、価格カルテル、輸出管理等への抵触</p> <p>機会 中・長期 企業価値向上に向けた「攻めの経営」の実践</p> <p>中・長期 リスクマネジメント体制の強化</p>



2022年度の取り組み

- EV向け新車装着タイヤ納入の推進
- サステナブル素材を活用したレーシングタイヤの開発
- バイオマス由来の資源を用いたゴム材料の研究開発
- タイヤ内のセンシング波形から摩耗状態を推定する技術を開発
- タクシー事業者向けタイヤソリューションサービスの実証実験を開始
- マリンホースとコンベヤベルトに実装するセンシングシステムのフィールド実証テストを開始

- 新城南工場のカーボンニュートラルモデル工場化に着手、太陽光発電設備を設置
- 工場の使用電力を再生可能エネルギー由来電力へ転換(インド国内工場他)
- YOKOHAMA千年の杜活動の推進
- 平塚製造所が環境省の「令和4年度地域環境保全功労者表彰」を受賞
- 横浜ゴム三重工場、新城工場が生物多様性に配慮した工場として「いきもの共生事業所® 認証」を取得

- 「横浜ゴムグループ人権方針」の策定
- 「CSR調達ガイドライン」の改定
- タイ、インドネシアでの天然ゴム農家の支援、品質向上に向けたセミナーイベントの開催
- 天然ゴムサプライヤーとの交流イベント「サプライヤーズデー」の開催
- 健康保険組合と連携した、コラボヘルスによる健康経営の取り組み推進

- 工場の環境保全活動に関する住民説明会の開催、地域イベントへの展示ブース出展
- 地域住民や地方自治体、学校、企業と連携した生物多様性保全活動、社会貢献活動の実施(新城工場の「野田川ホタルプロジェクト」等)
- 地域の小学生への「環境出前授業」の実施
- 工場内で育成した苗木の地域住民や植樹イベントへの提供
- YOKOHAMAまごころ基金を通じた社会貢献団体や災害被災者の支援

- グローバル内部通報制度の拡充(ベトナム、タイ)
- コーポレートガバナンス体制の見直し(2023年3月の定時株主総会の承認により監査役設置会社から監査等委員会設置会社に移行)

横浜ゴムの取り組みと目指す姿

- 高い安全品質、環境性能のタイヤ・工業資材の製造・販売
- カーボンニュートラル製品の製造・販売
- バイオマスゴムの開発、リトルッドタイヤの推進
- AI、IOT技術を活用した製品・サービスの開発(摩耗検知、路面検知、タイヤ管理、損傷予知)
- 社会インフラを支える産業・建設車両用タイヤ、自然資本を支える農林業機械用タイヤの製造・販売
- 温室効果ガス削減に資する工業資材の製造・販売

- 2050年までに自社活動カーボンニュートラルを達成
- 2050年までにサステナブル原料使用率100%
- YOKOHAMA千年の杜活動で2030年までに累計130万本の植樹を達成
- 持続可能な天然ゴム調達活動
- アグロフォレストリー農法推進・天然ゴム農家との共存共栄
- 生産拠点での生物多様性保全活動の展開

- 人権デューデリジェンスを通じた人権侵害リスクの予防・軽減
- CSR調達ガイドラインに沿った調達の実施
- ダイバーシティ&インクルージョン推進タスクの活動推進
- 柔軟な働き方の制度拡充
- 付加価値人材の育成と抜擢
- 防災・安全への取り組み
- 健康経営への取り組み

- 地域社会での生物多様性保全活動や医療・教育等の支援
- 地域社会での防災・災害支援活動
- YOKOHAMAまごころ基金とNPOとの協働
- CSR調達ガイドラインに沿った調達の実施
- 事業展開地域での雇用創出

- 中期業績連動報酬制度による事業計画へのコミットメントの明確化
- 経営戦略に必要なスキルを有する多様な役員人材構成
- ガバナンス体制の強化
- 事業継続計画(BCP)の強化
- コンプライアンス推進体制の整備